

平成 19 年 2 月 8 日

各 位

会 社 名 アールビバン株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 野澤 克巳
 問合せ先 経営企画室長 栗田 実
 電話番号 03 - 5159 - 7177
 (コード番号 7523 JASDAQ)

業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

平成 18 年 11 月 21 日に公表した平成 19 年 3 月期の通期業績予想を、下記の通り修正すると共に、同通期における特別損失の発生についてお知らせいたします。

記

1 . 平成 19 年 3 月期 通期連結業績予想の修正等 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日) (単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前 回 予 想 (A)	9,860	820	380
今 回 修 正 (B)	9,470	760	680
増 減 額 (B - A)	390	60	300
増 減 率	4.0%	7.3%	-
[参 考] 前 期 実 績 (平成 18 年 3 月期)	10,788	2,111	785

2 . 平成 19 年 3 月期 通期単独業績予想の修正等 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日) (単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前 回 予 想 (A)	4,400	370	1,220
今 回 修 正 (B)	4,360	310	1,380
増 減 額 (B - A)	40	60	160
増 減 率	0.9%	-	-
[参 考] 前 期 実 績 (平成 18 年 3 月期)	7,157	1,106	130

3. 特別損失の発生及びその内容

アート関連事業や健康産業事業において、一部の不採算店舗を閉鎖する事により、平成 19 年 3 月期決算におきまして、事業所閉鎖損失 300 百万円を計上する見込みであります。

4. 修正理由

売上高につきましては、リゾート事業において客室稼働率が伸び悩んだ事や、健康産業事業において昨年 11 月にオープンした『ららぽーと柏の葉』における『フィットネス&スパ施設(カルナ)』の新規会員数が目標会員数を現時点で下回っている事等により、前回の業績予想に対し連結で 390 百万円減の 9,470 百万円になる見込みであります。

経常利益につきましては、固定費圧縮に努めたことにより連結で 60 百万円減の 760 百万円、単独では 60 百万円増の 310 百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、事業所閉鎖損失 300 百万円を特別損失に計上する事等により、前回の業績予想に対し、連結で 300 百万円減の 680 百万円、単独では 160 百万円減の 1,380 百万円となる見込みであります。

以 上